

「リコー ビンタンの森」 現地業務報告

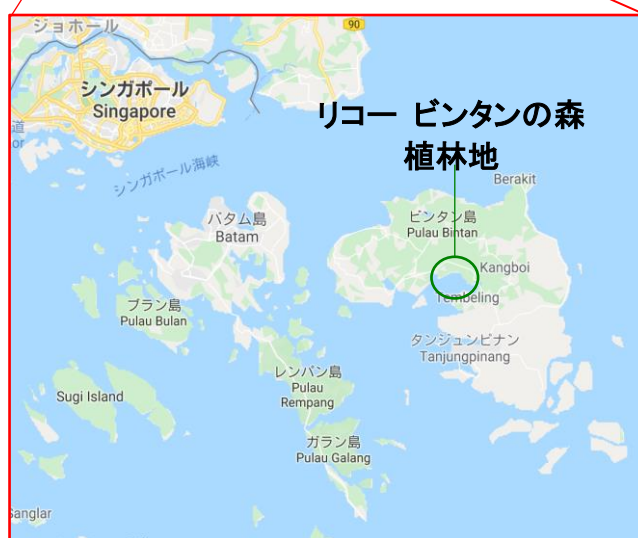
2021年3月（第3回目植林）

ワイエルフォレスト株式会社

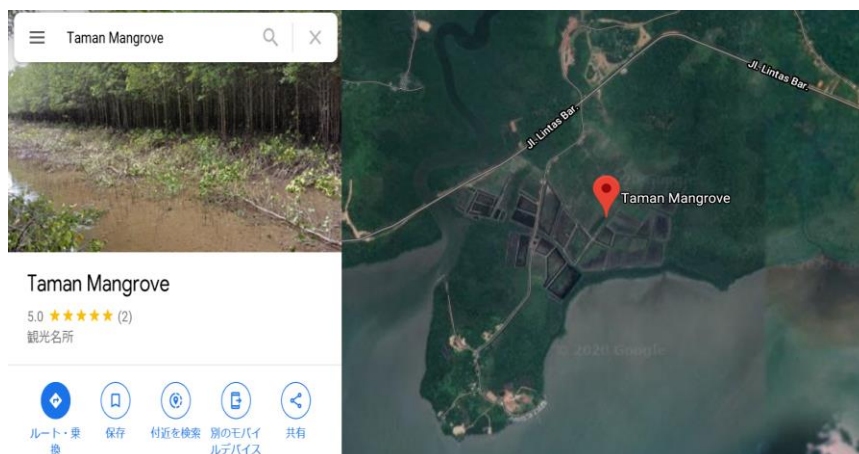
1. 植林現場情報

植林現場は、ビンタン島中央部にあるペナガ海峡に面した沿岸域に位置します。

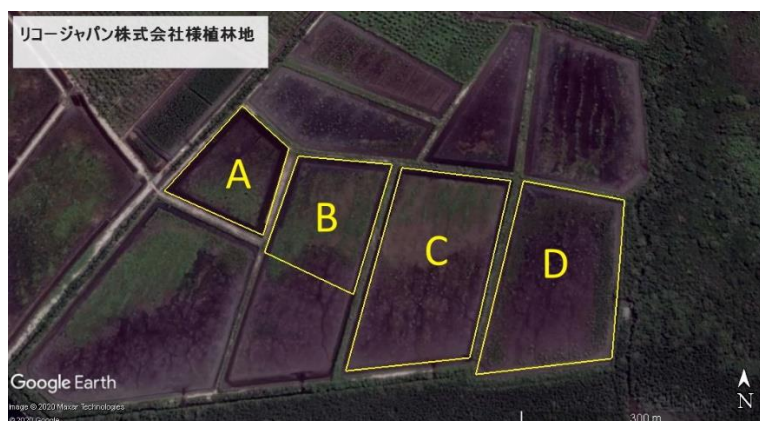
プロジェクト名	「リコー ビンタンの森」
植林現場	リアウ諸島州ビンタン島ペナガ Penaga, Teluk Bintan, Bintan Regency, Riau Islands
GPS 情報	1° 03'27.5"N 104° 25'43.1"E GoogleMap ; (https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7)
面積	約 11 ヘクタール (110,138 m ²)
土地	養殖池跡地。 YLF が土地を所有する住民と提携し事業実施。



上記表中に記載の GoogleMap の URL(<https://goo.gl/maps/zm7azqfwDzzNcSha7>)から、以下の地図が開きます。



植林現場は、4つに区画分けされた養殖池跡地で合計約 11 ヘクタールあり、各々の池面積は以下の表の通りです。



植林地番号	平方メートル(m ²)	ヘクタール(ha)
A	16,860	1.6860
B	20,813	2.0813
C	37,682	3.7682
D	34,783	3.4783
合計	110,138	11.0138

2. 植林業務報告

2021年3月初日から、第3回目となる40,000本のマングローブ植林を開始しました。例年であれば、3月に植林地域内または周辺のマングローブ林から種子を収穫できますが、今年は種子の成熟が遅かったため植林に適した熟度の種子の採集が困難な状況にありました。そこで、今回は他の地域からマングローブの種子を購入することで対応致しました。当初は種子の購入調達に時間がかかっており、3月中の植林完了が危ぶまれる状況もありましたが、3月31日に開催した植樹イベントにおいて、計画通りの40,000本のマングローブ植林が完了することができました。

昨年からのコロナ禍によりインドネシア国内においても経済への影響は大きく、インドネシア政府は雇用創出と収入獲得を目的として、植林活動を推奨しています。3月中の植林作業完了のために作業員を増員したことが、結果的に政府の推奨事項に貢献することにも繋がりました。

作業員を増員では、ジェンダーへの配慮も行い女性の参加を促し、また幅広い年齢層の参加も募りました。作業員の適性に応じて作業内容を分担し、土地整備などの重労働では体力のある男性に分担し、種子の分別・配置などの軽作業では女性に分担し、植林作業では男女ともに参加するなどの対応を行い、参加する作業員の各々が活躍できる場面を創出致しました。

植林作業最終日となる3月31日には、植樹イベントを開催し最後の植林作業を実施しました。このイベントには26人の参加者が集まり、また地元メディアの取材を受けました。地元メディアの取材内容については、後述致します。

第3回目(2021年3月) 植林状況

土地整備

植林地となる養殖池の跡地は、長年放置され雑草が生い茂っているため、土地整備として雑草を処理する作業から開始します。ナタや草刈り機などを使って、雑草や多年草などの伐採を行います。力仕事である為、男性が作業を行います。

下草刈りをした後に暫く時間をおくことで、草は枯れて茶色に変色します。枯れた下草は土に戻りますので、撤去せず、そのまま置いておきます。



ナタを使って、多年草や雑草の草刈りを行う。



右後ろの作業員は、自前の草刈り機を使って作業を行っている。

種子の収集・選別

エリア内や周辺森から採集した種、今回外から購入した種は一箇所に集められます。虫食いがある種や折れている種、腐っている種などを外す選別作業を行います。種の下(天地)を揃えて、運搬用のバケツや米袋に詰める作業を行います。軽作業であるため、主に女性や高齢者が担当します。



作業小屋で選別作業を行う女性の様子。



種子の運搬

選別され、バケツや米袋に詰められた種は、植林現場まで運ばれます。



バケツなどに詰められたマングローブの種を植林現場に運搬する。



植林現場に運ばれてきた、マングローブの種を積めた米袋。

植林

種が数千本単位の数量に集まったところで、随時、植林作業を実施します。今回の植林でもマングローブの胎生種子をそのまま地面に植林する直植え形式を取っています。直植え形式を取っている理由は、植林にかかる費用と時間を抑えるためであることと、この植林現場は、直植え形式と育苗した苗木を植林する形式とで活着率に大きな差がないためです。直植えする種は、長期間保管するよりも鮮度が良いうちに植林することで、活着率を向上させる対策を取っています。(活着率とは、マングローブの種が地中根を出して根付き育つ割合のことです。)そのため、今回の植林では、この種子の収集・選別と植林作業を数回に分けて繰り返し行っています。

植林作業では、植林現場に木の棒をポールとして 2 本立て、そのポールにロープを張り、直線を作ります。張られたロープには一定間隔に目印がつけられており、その目印に合わせて種を植林します。



両端に立てたポール張られたロープに沿って植林を行う事で、植林の列を一直線に保つ。



ロープに一定間隔でつけられた目印。



ロープに沿って一列に並び、間隔を保ちながら植林作業を行う。



植林作業の様子。



植林作業には女性も参加。





植林したマングローブ



今回 2021 年 3 月のマングローブ植林では、「リコー ビンタンの森」にて株式会社リコー様の植林も一緒に実施させて頂いております。

- | | |
|---|----------|
| -リコージャパン株式会社様 SDGs 事業(2021 年 3 月植林分) | 40,000 本 |
| -株式会社リコー様 2020 年 JLPGA ツアーチャンピオンシップリコーカップ | 2,145 本 |
| -株式会社リコー様 リコー環境事業開発センター | 107 本 |

第1回目(2020年3月)と第2回目(2020年9-11月)に植林したマングローブの様子

経過

第2回目の植林したマングローブは約5ヵ月、2020年3月に植林したマングローブは約1年生に育っています。





3. 地元メディアの取材

植林最終日となる 2021 年 3 月 31 日に、26 人の地元住民が参加し、インドネシアマングローブ愛好家(Pecinta Mangrove Indonesia)と題打った植林イベントを開催しました。その際に、地元メディアから取材を受けました。2つのメディアの掲載サイトを以下に紹介します。(リコーグループ様以外からの植林も請負っており、その分も含めた年間の植林総数が 10 万本となっていることをご了承下さい。なお、リコーグループ様の植林現場と他の請負い植林現場は、別の区画になっております)

<h4>Harian Kepri(リアウ諸島州日報)</h4> <p>DAERAH BINTAN HEADLINE</p> <h3>Pencinta Mangrove Indonesia Tanam Bakau di Bintan, Setahun Sudah 100 Ribu Batang</h3> <p>31 Maret 2021</p>  <p>BINTAN (HAKA) - Pandemi Covid-19 tak menyurutkan semangat para pencinta mangrove Indonesia, untuk terus melakukan kegiatan penanaman bakau di wilayah Bintan, Provinsi Kepulauan Riau (Kepri).</p> <p>Koordinator Pencinta Mangrove Indonesia, Ady Indra Pawennari mengatakan, aksi</p> <p>タイトル： インドネシアマングローブ愛好家がビンタン島でマングローブを植林、1年間で10万本。</p> <p>サイト URL： https://www.kepri.com/read/para-pecinta-mangrove-indonesia-tanam-bakau-di-bintan-setahun-sudah-100-ribu-batang Harian Kepri)</p>	<h4>Go TV News</h4> <h3>Para Pecinta Mangrove Tanam 100.000 Bibit Bakau</h3> <p>March 31, 2021 229 Bintan Gemilang GOTV</p>  <p>GOTVNEWS, TANJUNGPINANG - Demi menjaga kelestarian lingkungan hidup, sejumlah masyarakat yang tergabung dalam Komunitas Pecinta Mangrove Indonesia, berinisiatif menanam 100.000 bibit tanaman Mangrove, diatas lahan seluas ratusan hektar, di Kawasan Sei Tiram Kabupaten Bintan.</p> <p>Meski ditengah Pandemi Covid-19, namun tak menyurutkan semangat para Pecinta Mangrove Indonesia untuk terus melakukan kegiatan penanaman bakau di Wilayah Pulau Bintan, Provinsi Kepri. Sejumlah masyarakat Pecinta Mangrove ini tetap menjalankan aktivitas positif, seperti menanam bibit tanaman Mangrove di atas lahan bekas tambak udang seluas puluhan hektar, sebagai upaya melestarikan tanaman Mangrove yang berguna bagi lingkungan hidup sekitar.</p> <p>Koordinator Pecinta Mangrove Indonesia, Ady Indra Pawennari, menyebutkan aksi</p> <p>タイトル： マングローブ愛好家たちが10万本のマングローブの種を植林。</p> <p>サイト URL： https://gotvnews.co.id/read/para_pecinta_mangrove_tanam_100000_bibit_bakau.phtml</p>
--	---

以上